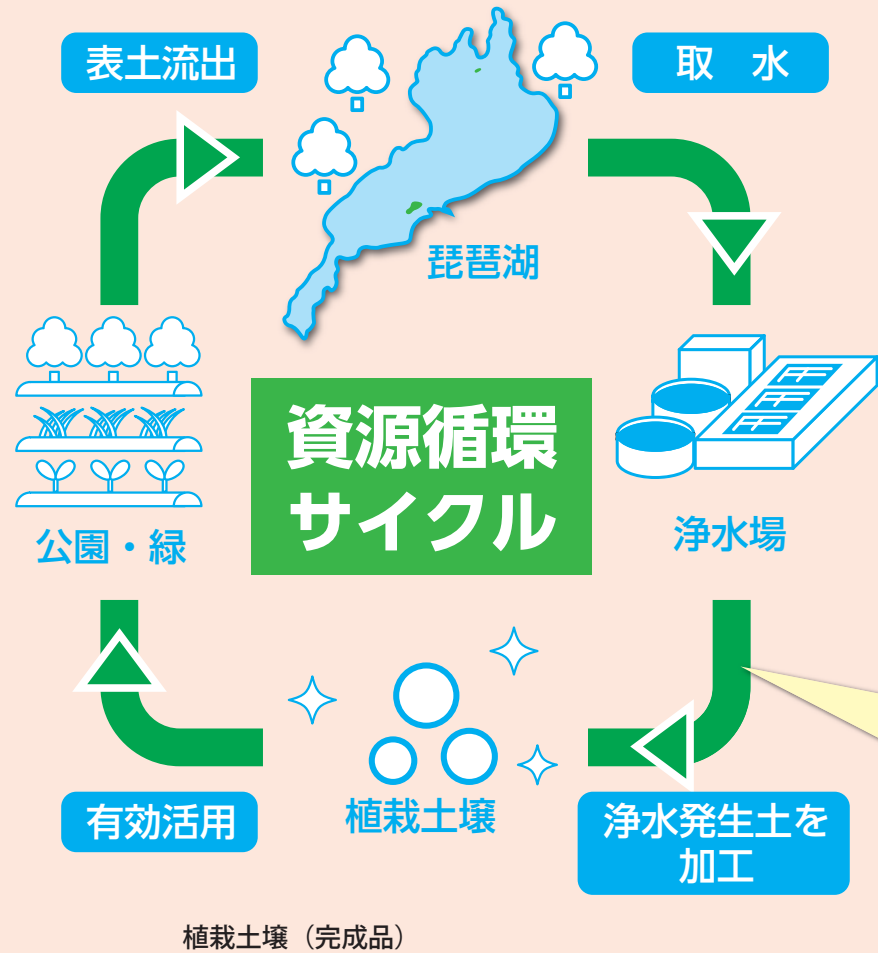


# 今、浄水場がアツい

持続

平成28年3月に策定した『湖都大津・新水道ビジョン』に掲げる主要施策がいよいよ動き出しました。中でも浄水場に関する施策が今、アツいのです。今号では、第1弾として基本方針「持続」に基づく、浄水発生土の有効利用事業についてご紹介します。次号、第2弾は基本方針「強靱」に基づく事業を取り上げる予定です。

## 琵琶湖の水から水道水と土を作る浄水場の新しい取り組み～浄水発生土有効利用事業について～



本年度より浄水工程で発生する発生土を再利用して「植栽土壌」を作る事業を、西武造園株式会社（事業受託者）とともに進めています。今まではセメント材料の副資材として処理をしていた浄水発生土を「植栽土壌」として再利用することにより、公園工事や植栽工事の際に山林を切り開いて土壌を採取する必要がなくなるため、自然保護にもつながります。琵琶湖の中に流れ出した土や砂などを浄水工程で集めて再利用する「浄水発生土有効利用事業」は、資源循環につながる新しい事業です。

教えて、担当さん! Q&A

Q 浄水発生土は、一年間でどれくらい出るのですか?  
A 6つの浄水場から、年間約900トンの発生土が出ます。

Q では、植栽土壌はどれくらい作れるのですか?  
A 年間1,000㎡を見込んでいます。

Q うーん、どれくらいの量が想像できません。  
A 学校にある25mプールだと、約3つ分くらいですね。



植栽土壌製造装置 (八屋戸浄水場)

### 大津市各浄水場

各浄水場では、琵琶湖の水を処理して水道水を作っています。取水した水の中に混じっていた土や砂、その他の有機物などは、その過程で分離されます。それが浄水発生土です。

浄水発生土 ← 浄水工程

浄水発生土の作り方

水道水を作る時にできるドロ（排でい）は、水分を含んでいます。このドロを「脱水機」と呼ばれる機械に通し、さらに水分を取り除きます。

各浄水場から発生土を集めて植栽土壌の原料として利用するんだ。



### 植栽土壌

出来上がった土は、公園やプラントナーなどの土として広く使うことができます。

### はちやど 八屋戸 浄水場

団粒化

浄水発生土に肥料等を混ぜ合わせ、植物が育ちやすい土にします。



浄水発生土有効利用事業についてのお問い合わせ  
施設整備課 ☎077-528-2965  
現在のところ、一般のお客さまへの植栽土壌の販売等はしておりません。